

1999年生体運動合同班会議のご案内

生体運動合同班会議のプログラムが決まりましたのでお届けします。間違いなどありましたら、至急お知らせ下さい。例年通り、研究グループ宛に1通のみですので、必要な分は研究室でコピーをお願いします。

1998年12月2日

世話人

御橋 廣眞

伊藤 知彦

嶋田 勝彦

【発表会】

日時： 1999年1月6日（水）～8日（金）

会場： 名古屋市立大学医学部講堂（添付の地図を参照して下さい）

住所： 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄

事務連絡用の電話：090-1411-4309、070-5649-5968

発表に際しての諸注意

- 1 発表は交代に要する時間も含めて10分（口演7分、討論3分）です。時間を厳守して下さい。
- 2 スライド枚数は各演題ごとに10枚以内とします（スライドホルダーの容量限度内）。
- 3 発表会場には通常の35 mmスライド用プロジェクター、OHP、ビデオ映写機（S-VHS可）を各1台用意します。スライドの方は口演30分前までにスライド受付にお渡し下さい（ホルダーへの装着は各自でお願いします）。OHPのみの方は、その旨スライド受付にお申し付け下さい。ビデオ使用の方は、休憩時間等を利用して、ビデオ係と十分打ち合わせをして下さい。
- 4 発表が済まれた方は次の口演の座長をお願いします。座長の最後に次々演題の紹介をお願いします。

【班運営全体会議】

日時： 1999年1月7日（木）16:30-17:15頃

会場： 名古屋市立大学医学部講堂

【懇親会】

日時： 1999年1月7日（木）18:30-

会場： 今池ガスビル9階ガスホール Tel:052-732-3211

（地下鉄今池駅10番出口を出てすぐのエレベーターにのって下さい）
今池駅は、桜山駅より中村区役所行き（桜通線）に乗車して3駅のところにあります。ちょうどラッシュ時間にあたりますので、会場よりタクシー等で移動はお勧めしません。添付の地図も御覧下さい。

【その他】

- 1 宿泊は各自ご手配下さい。
- 2 会場にはクロークがありません。荷物置き場を設置いたしますが、盗難や紛失の責任は負いかねますので、貴重品は各自でお持ち下さい。
- 3 発表会場の講堂内は禁煙・飲食禁止となっておりますのでよろしくご協力下さい。休憩所は別棟に準備しましたのでご利用下さい。
- 4 セキュリティー確保のため、班会議期間中は名札（当日受付でお受け取り下さい）を必ず着用して下さい。
- 5 周辺には外食の場所が少なく、また病院の食堂は混雑が予想されますので、7・8日の昼食のために弁当（700円）を販売いたします。
準備の都合上、12月25日（金）までに予約をお願いします。e-mailかFAXで予約受付いたしますので、以下の形式でお申し込み下さい。折り返しの返信にて当日の引換券をお送りしますので、プリントアウトを忘れずにご持参下さい。代金は当日お願いします。

To: undohan@bunshi1.bio.nagoya-u.ac.jp

From: j45712a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

Subject: 弁当予約

Cc:

Bcc:

Attachment:

-
- 1) 申込責任者名 (所属)
 - 2) 7日分 個数 合計金額
8日分 個数 合計金額
 - 3) 連絡先

連絡先：〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院多元数理科学研究科
御橋 廣 眞
電話：052-789-2461 (FAX共用)
e-mail：mihashi@math.nagoya-u.ac.jp

1月6日(水)

- 1 13:00-13:10 まだらアクチンの近似について
○御橋廣真、下理恵子、長谷川聡1 (名大・院・多元数理、1名古屋文理短大)
- 2 13:10-13:20 滑り運動中のまだらアクチン繊維における“変形”の定量化
羽鳥晋由、○五十嵐義昌、本多元、嶋田勝彦1、松野孝一郎 (長岡技科大・生物、1名立大・芸工)
- 3 13:20-13:30 ~~滑り運動するまだらアクチンの長さ依存性~~ *滑り運動中のまだらアクチン繊維の長さ依存性*
○下理恵子、長谷川聡1、御橋廣真 (名大・院・多元数理、1名古屋文理短大)
- 4 13:30-13:40 まだらアクチン繊維の長さ変化とライゴール結合間相互作用
○本多元、羽鳥晋由、五十嵐義昌、嶋田勝彦1、松野孝一郎 (長岡技大・生物、1名古屋市立大・芸工)
- 5 13:40-13:50 滑り速度・力とアクトミオシンATPase反応との関係 *($K_m(\text{actin-activation}) \propto \text{滑り速度}$)*
○網谷一郎、安藤敏夫 (金沢大・理・物理)
- 6 13:50-14:00 アクチン・ミオシン間の無荷重滑り速度に及ぼす D_2O の影響 *(NTP, Me, μ)*
山本直人、○茶園茂、杉晴夫 (帝京大・医・生理) *Force = const.*
- 7 14:00-14:10 スクロース： α -1,3 グルカングルコシルトランスフェラーゼ(GTF-1)はデキストラン鎖上を滑るか?
○児玉孝雄、小松英幸、加世田国与士、松野秀輝 (九工大・情報工・生化システム)
- 8 14:10-14:20 ATPase反応中のミオシンの分子振動
○芝田健一郎、網谷一郎、安藤敏夫 (金沢大・理・物理)
- 9 14:20-14:30 ミオシン1分子の発生する変位
○喜多村和郎、田中裕人、岩根敦子、徳永万喜洋1、柳田敏雄 (阪大・医・第一生理、1遺伝研)
- 10 14:30-14:40 自由エネルギー変換
○関本謙 (京大・基礎物理研)
- 11 14:40-14:50 筋収縮制御に影響を及ぼす変異アクチンの結晶構造 *Ala²³⁰ → Tyr²³⁰ 局所的な変異*
○松浦能行、Murray Stewart1、河本正秀2、神谷信夫3、佐伯喜美子、安永卓生、若林健之 (東大・理・物理、1:MRC-LMB、2:JASRI、3理研播磨)
- 12 14:50-15:00 アクチン二量体、アクチン単量体・DNaseI複合体とミオシン頭部S1との三重複合体のX線溶液散乱解析
○荒田敏昭、木村俊一1、杉本泰伸1、武澤康範1、若林克三1 (阪大・院・理、1阪大・院・基礎工)
- 15:00-15:10 (休憩)
- 13 15:10-15:20 重原子修飾S1を灌流した骨格筋繊維のX線回折
○岩本裕之、大岩和弘1、鈴木拓、藤沢哲郎2 (SPring-8・JASRI、1通信総研・生体物性、2理研播磨研・構造生物物理)
- 14 15:20-15:30 Myosin の構造
○谷口美恵子、北原玲 (名大・院・理)
- 15 15:30-15:40 ミオシンS1の構造変化とそのバネ性
○須田斎、佐々木裕次1、大石昇2、平岡七恵、須藤和夫3 (東海大・開発工・生物工、1科学技術振興事業団・さきがけ研究21、2帝京大・医、3東大・総合文化)
- 16 15:40-15:50 リコンビナント・コイルMMの熱力学的構造解析
○柿沼誠、畑中晃昌1、渡部終五1、前田佳代2、大井龍夫3 (三重大・生物資源、1東大・院・農、2松下国際研、3京都女子大)

- 17 15:50-16:00 ミオシンrod部におけるスタッガー領域の細部検討
芥川 亨 (京大、化研)
- 18 16:00-16:10 ミオシン頭部重鎖75kDa/20kDa切断による構造変化は結構大きい
○宮西隆幸、大木高志、毎田徹夫 (長崎大・医・生化学、長崎大・環境科学)
- 19 16:10-16:20 アクチン滑り運動中のミオシン頭部のコンフォメーション
○片山栄作、大森剛毅1、小山智宏、馬場則男1 (東大・医科研・微細形態、1工学院大・工・電気工学)
- 20 16:20-16:30 クライオ電子顕微鏡によるディクチオ型細胞性粘菌ミオシンの構造
○安永卓生、阿部亮敦、佐伯喜美子、須藤和夫1、若林健之 (東京大学・院・理、1東京大学・院・総合文化)
- 21 16:30-16:40 FRETによるミオシンレバーアームの動きの検出
○鈴木良和、安永卓生1、大倉玲子、若林健之1、須藤和夫 (東大・院・総合文化、1東大・院・理)
- 22 16:40-16:50 レバーアームモデルと高速の車軸藻ミオシン ← ATPase, ts, d 100倍
○住吉浩紀、藤目杉江 (名大・院・理)
うかがいHMMは2000倍
そのR、Vmaxは10倍
- 23 16:50-17:00 車軸藻ミオシンの軽鎖 → CaM
○斎藤和博、山本啓一 (千葉大・理・生物)
→ multi-step model?
- 24 17:00-17:10 植物培養細胞のミオシン
○横田悦雄、新免輝男 (姫路工大・理・生命)
- 17:10-17:20 (休憩)
- 25 17:20-17:30 淡毛色と行動異常を示す突然変異ラット (dilute-opisthotonus, Dop)におけるミオシンVの解析
○二木杉子1、高岸芳子、加納安彦、井上稔、林良敬、妹尾久雄、織田銃一2、岩井川幸生3、村田善晴 (名大・環境医研、1名大・院・人間情報・生物システム論、2名大・農・家畜管理、3名大・情報文化・生物システム論)
- 26 17:30-17:40 脳ミオシンII軽鎖のリン酸化、脱リン酸化状態を識別する抗体
○大木高志、麻生宏樹、毎田徹夫、宮西隆幸 (長崎大・医・生化学、長崎大・環境科学)
- 27 17:40-17:50 中枢神経組織に特異的に発現する非筋細胞ミオシンII
○高橋正行、宮崎太輔、斉藤隆幸、山岸皓彦 (北大・院・理・生物科学)
- 28 17:50-18:00 軟体動物平滑筋キヤッチ収縮のin vitro再構成実験系
○山田章、小嶋寛明、大岩和弘 (通信総合研究所・生体物性)
- 29 18:00-18:10 骨格筋単一筋原線維の収縮および弾性特性
○若山純一、吉川義弘、山田武範 (東京理科大・理・物理)
- 30 18:10-18:20 白色分光法による筋収縮中のATPase活性の測定
○小林孝和、三枝木泰丈1、杉晴夫 (帝京大・医・生理、1鶴見大・菌・生理)
- 31 18:20-18:30 過重力下で飼育したラットひらめ筋の呼吸作用とLDHの適応変化
○山口正弘、鈴木正子、佐藤貴洋、1亀山恒夫、小池勝也 (日大・薬、1腫瘍研)
- 32 18:30-18:40 クライオ電子顕微鏡法と逆投影法による細いフィラメントの三次元再構成
○成田 哲博、石川 尚、真柳 浩太、安永 卓生、若林 健之 (東京大学理学系研究科)
- 33 18:40-18:50 Tobacman型変異トロポミオシンを使った骨格筋Thin filamentのFRET測定
海宏、佐野健一1、前田佳代1、前田雄一郎1、寺田聡、三木正雄 (福井大・工、1松下電器国際研)
- 34 18:50-19:00 トロポミオシンは等尺張力のpH依存性を制御する
○藤田英明、石渡信一 (早大・理工・物理、CREST)

- 35 19:00-19:10 トロポミオシン・カルボキシル端の機能領域の解析
○佐野健一、前田佳代、前田雄一郎^{1,2} (1松下国際研, 2理研・播磨)

1月7日 (木)

- 36 9:00-9:10 疎水性タンパク質の折れたたみとしての Ca^{2+} 誘起収縮性スバズモネームの張力発生機構
○浅井博、森山泰誉、岡本裕之 (早大・理工)
- 37 9:10-9:20 単離スバズモネームのゴム弾性的特性
○岡本裕之、森山泰誉、浅井博 (早大・理工)
- 38 9:20-9:30 キネシン歩行モデルの計算機シミュレーション: 8nm未満ステップとその機構
○今福泰浩、神谷力、N. Thomas¹、R.A. Thornhill¹、和田勝久 (九大・理・生物、¹英国バーミンガム大学)
- 39 9:30-9:40 1分子破断解析による微小管-キネシン単頭・双頭結合の識別
○川口憲治、石渡信一 (早大・理工・物理、CREST)
- 40 9:40-9:50 単頭キネシン-微小管相互作用の1分子イメージング *single kinesin processive* *truncate* *と行ったり来たりする。*
○井上裕一、宮井孝之、岩根敦子、柳田敏雄 (阪大・医・第一生理、¹阪大・基礎工)
- 41 9:50-10:00 分裂酵母のキネシン様タンパク質の運動性
○前田有里菜、枝松正樹、矢島潤一郎、豊島陽子 (東大・院・総合文化)
- 42 10:00-10:10 分裂酵母の減数分裂前期核運動における細胞質ダイニンの働き
○山本歩、平岡泰 (通総研・生物情報)
- 43 10:10-10:20 細胞性粘菌のミオシンI/II三重変異株の作成と表現型の解析
北山智華子、Janwu Dai¹、H. Ping Ting-Beall¹、Margaret A. Titus^{1,2}、上田太郎 (工技院・融合研、¹Duke Univ., Medical Center、²Univ. of Minnesota)
- 44 10:20-10:30 細胞性粘菌の細胞質分裂に関わるタンパク質GAPAとCykA
○足立博之、桜井大雄、須藤和夫 (東大院・総合文化)
- 10:30-10:40 (休憩)
- 45 10:40-10:50 分裂酵母の分裂とアクチン細胞骨格の制御におけるアクチン脱重合タンパク質 (ADF) の役割
○中野賢太郎¹、川向誠³、馬淵一誠^{1,2} (1東大・院・総文・生命、2基生研・細胞生物、3鳥根大・生物資源・生命)
- 46 10:50-11:00 原子間力顕微鏡によるウニ卵細胞骨格の観察
○日比野政裕、浅野貴春 (名大・院・工)
- 47 11:00-11:10 アフリカツメガエル卵の分裂溝伸長端でのアクチン細胞骨格の再編成
○野口立彦¹、馬淵一誠^{1,2} (1東大・院・総文・生命、2基生研・細胞生物)
- 48 11:10-11:20 ヒトア減数分裂の分裂装置の表層への接着について
○浜口幸久、佐藤節子 (東工大・生命理工・基礎生物)
- 49 11:20-11:30 細胞分裂装置の動物型から植物型への移行段階でみられるMTOCの存在様式
嶋村正樹、出口博則、○峰雪芳宣 (広島大・理・生物科学)
- 50 11:30-11:40 ヒトMAP4の微小管重合制御に関与するリン酸化部位の同定:
北澤秀文、飯田純子、岸本健雄¹、○久永真市 (都立大・院・理、¹東工大・生命理工)
- 51 11:40-11:50 α B-クリスタリン発現制御細胞の細胞動態
○田中幹人・跡見順子 (東大・院・生命環境)
- 52 11:50-12:00 律動的伸縮刺激に対する細胞の応答-各種パラメーターの検討-
○武政 徹、杉本啓治、山下和雄 (日本医大・解剖第一)

12:00-13:00 (昼休み)

- 53 13:00-13:10 血管内皮細胞の運動と変形の制御機構
○細川浩、眞崎知生 (国立循環器病センター)
- 54 13:10-13:20 ブタ脊髄由来の新しい細胞活動抑制因子
○江本由美子、三浦清武、川原江里子、伊藤肇躬¹、太和田勝久 (九大・理・生物、¹九大・農)
- 55 13:20-13:30 赤血球の終末分化過程におけるミトコンドリア消失の機序と意義
○大室弘美、向田政博¹、森岡清和² (東大・院・医、¹防衛医大・法医、²都臨床研・臨床遺伝)
- 56 13:30-13:40 筋原線維形成におけるデスミンの3次元配置
黒田正明 (島大・生物・生物科学)
- 57 13:40-13:50 オジギソウアクチン結合タンパク質の検索と解析
○山城佐和子、林亜砂美、神澤信行、土屋隆英 (上智大・理工・化学)
- 58 13:50-14:00 C末リン酸化ERM蛋白質の局在 (TCA固定法の開発と評価)
林研、○米村重信、松井毅、月田早智子¹、月田承一郎 (京大・医・分子細胞情報、¹京大・医短)
- 59 14:00-14:10 フィロポディアのアクチン束化蛋白質ファシンのトロポミオシン、カルデスモンによる制御
石川良樹、○中村彰男、山代茂子、松村文夫¹、小浜一弘 (群大・医・薬理、¹Rutgers大・生化)
- 60 14:10-14:20 血清中のF-アクチン脱重合因子 (ゲルソリン) の定量とその臨床医学への応用
茂木幸二、石塚稲夫¹、山口正弘²、竹田稔³、○亀山恒夫³ (東京警察病院・中検、¹帝京大・医・生化、²日大・薬学、³昭和大・医・生化)
- 61 14:20-14:30 C. エレガンス変異トロポニンCを用いたCa²⁺結合部位とトロポニンI結合部位の解析
○寺見浩美、香川弘昭 (岡山大・理・生物)
- 62 14:30-14:40 新しい筋組織培養法：ニワトリ砂囊漿膜下培養法の確立
○中田和人、宮崎淳一、平林民雄 (筑波大・生物)

14:40-14:50 (休憩)

- 63 14:50-15:00 ニワトリ筋・非筋組織からの新規アクチン結合タンパク質の探索
○寺崎朝子、立川雅司、伊藤昌代、公平佐知子、湯座香織、大橋一世¹ (千葉大院・自然科学、¹千葉大・理)
- 64 15:00-15:10 ニワトリ翼筋におけるTnTアイソフォームの分布の勾配とアイソフォームの機能
○宮崎淳一、倉田智子 (筑波大・生物)
- 65 15:10-15:20 ニワトリ遅筋型トロポニンTの発現と多様性
○米村出、宮崎淳一 (筑波大・生物)
- 66 15:20-15:30 筋収縮カルシウム制御のpH依存性におけるトロポニンサブユニットの役割
○森本幸生、原田景太、大槻磐男 (九大・医・臨床薬理)
- 67 15:30-15:40 トロポモジュリンはTM・TN存在下でアクチンフィラメントのP、B両端をキャップする？
○丸山工作、市川晃、石塚純子、掛武威、大河内志保、木村澄子 (千葉大・理・生物)
- 68 15:40-15:50 Ca²⁺の結合によるβ-コネクチンの構造変化
○辰巳隆一、高橋興威 (北大・農・畜産)


- 69 15:50-16:00 γ -サルコグリカン欠損マウスにみられた筋ジストロフィーの所見
○笹岡俊邦、水野裕司、野口悟、今村道博、新石健二、若林恵理子、濱裕、吉田幹晴、小沢鏡二郎 (国立精神・神経セ、神経研)
- 70 16:00-16:10 サルコグリカン複合体が結合しているジストロフィン複合体中の構成要素
○吉田幹晴、小沢鏡二郎 (国立精神・神経セ、神経研)
- 71 16:10-16:20 筋ジストロフィー症は筋成長障害 (逆説) 成長指向性の善玉病変
○戸塚 武、渡辺貴美、佐久間邦弘、浦本 勲 (愛知県コロンニー・研究所・生理)
- 72 16:20-16:30 MLCK タンパク質の役割
○江橋 節郎 (生理研)

16:30-17:15 合同班会議全体会議

(移動時間)

18:30- 懇親会 (今池ガスビル 9 階ホール)

1月8日 (金)

- 73 9:00-9:10 人工平面膜への運動タンパク質の組み込みへの試み
○服部高明、恵木直史、豊嶋宣匡、田辺将行、石島秋彦 (名大・院・工)
- 74 9:10-9:20 DNAのねじれ弾性測定 自己相関→緩和時間→ばね定数
○羽田裕子、原田慶恵、木下一彦 (慶應義塾大学・理工・物理、CRESTチーム13)
- 75 9:20-9:30 F1-ATPase $\alpha 3 \beta 3$ 複合体のヌクレオチド結合型の構造解析
○白木原康雄、神原稔1、海原千歳2、天野豊己2、吉田賢右2 (国立遺伝学研究所、1兵庫教育大、2東工大生命理学)
- 76 9:30-9:40 50kDaドメインの部分変性したミオシンS1による凝集体の形成
○小松英幸、篠谷奈美、加世田国与士、児玉孝雄 (九工大・情報工・生化システム)
- 77 9:40-9:50 ATP存在下にアクチンとミオシンの結合はBDMによって顕著にゆがむ
○岡本洋、上澤田光一、藤原貢、巖麗娟 (室蘭工大・工・応化)
- 78 9:50-10:00 ミオシン頭部Cys-697(SH-2)の特異的蛍光標識
○平塚寿章 (旭川医大・医・化学)
- 79 10:00-10:10 ミオシンのATP加水分解反応にcriticalなsalt-bridge
○尾西裕文、孤嶋慎一郎、加藤一夫、藤原敬己、Hugo M. Martinez 1、Manuel F. Morales 1 (国立循環器病センター・研究所・形態、1 Univ. of the Pacific)
- 80 10:10-10:20 平滑筋ミオシン軽鎖キナーゼのC末端ドメインの機能 → ミオシンの首の部分に結合する
○沼田卓也、加藤剛志、矢澤道生 (北大・院・理)
- 81 10:20-10:30 キャッチ筋制御タンパク質twichinのリン酸化部位について
○船原大輔、渡部終五、D. J. Hartshorne 1、T. Butler 2、M. Siegman 2 (東大・院・農、1 Arizona大、2 Thomas Jefferson大)
① → twitchin kinase domain ではない、
N  C
R P S L V D V I P D
twitchinのC末端付近にある
(cf. C. elegans)
- 10:30-10:40 (休憩)
- 82 10:40-10:50 HeLa細胞の53kDaミオシン調節軽鎖キナーゼ遺伝子の解析
○村田一堀麻希、水津太、上田こずえ、菊池麻子、岩崎隆宏、細谷浩史 (広島大・理・生物科学)
- 83 10:50-11:00 かずさcDNAプロジェクトにより見いだされたヒト新規細胞骨格・モーター蛋白質遺伝子について
○小原收、山川央、小原令子、長瀬隆弘 (かずさDNA研究所)

- 84 11:00-11:10 アクチン/ABP-280・ゲルの力学的性質
○伊藤忠直、T. P. Stossel、P. A. Janmey (京大・院・理、Brigham & Women's Hospital)
- 85 11:10-11:20 マイクロ波誘電測定によるF-アクチンの水和解析
○横山慶一、綿貫善太、樋口秀男、鈴木誠 (東北大・院・工)
- 86 11:20-11:30 特異的抗体により精製された3型リアノジン受容体の性質
○村山 尚、片山栄作¹、小山田英人²、小口勝司²、小川靖男 (順天堂大・医・薬理、¹東大・医科研・微細形態、²昭和大・医・薬理)
- 87 11:30-11:40 I型およびIII型精製リアノジン受容体のチャンネル活性
○大羽 利治、村山 尚¹、小川 靖男¹ (名古屋大・医・第一生理、¹順天堂大・医・薬理)
- 88 11:40-11:50 線虫リアノジン受容体の部位特異的抗体を用いた機能ドメイン解析
○濱田智代、作部保次、香川弘昭 (岡山大・理・生物)
- 89 11:50-12:00 ホヤ精子運動活性化のイオンチャンネルと膜電位変化による制御
○泉 寛子、Terez Marian ¹、森沢正昭 (東京大学・院理・臨海実験所、¹ Positron Emission Tomograph Center・Univ. Medical School of Debrecen・Hungary)
- 12:00-13:00 (昼休み)
- 90 13:00-13:10 クラミドモナスにおける保守的アクチンと非保守的アクチンの排他的発現
瓜生さと美¹、箕浦高子²、広野雅文¹、神谷律^{1,2} (東大・院・理・生物科学、²基生研・細胞情報)
- 91 13:10-13:20 精子運動活性に伴うTctex2/ダイニン軽鎖のリン酸化
○稲葉一男、加々美修¹、小川和男² (東北大・理・臨海、¹基生研・細胞情報、²基生研・アイソトープ)
- 92 13:20-13:30 新しい滑り解析系を用いたダイニン分子の力発生と振動の解析
○真行寺千佳子、樋口秀男¹、吉村美幸子、柳田敏雄² (東大・院理・生物科学、¹東北大・院・工、²阪大・医)
- 93 13:30-13:40 クラミドモナス鞭毛軸糸内腕ダイニンの力学的・酵素学的特性
○大岩和弘、榊原斉、小嶋寛明、坂井由佳子、山家高子、菊本真人 (通信総合研究所・生体物性)
- 94 13:40-13:50 鞭毛周辺微小管間を結合するネキシリンクの弾性
○箕浦逸史^{1,2}、八木俊樹²、神谷律^{1,2} (基生研・細胞情報、²東大・院・理・生物科学)
- 95 13:50-14:00 渦鞭毛藻 *Procentrum minimum* の游泳運動の観察とモデル化 II
○宮坂郁、難波謙二、古谷研 (東大・院・農・水)
- 96 14:00-14:10 テラピア精子の浸透圧適応
○守田昌哉、奥野誠 (東大・総合文化・生命環境)
- 97 14:10-14:20 テトラヒメナの14nm繊維蛋白質の多機能性はリン酸化によって制御される
○沼田治、小島弘子 (筑波大学・生物科学系)
- 98 14:20-14:30 植物細胞の形態形成に関する表層微小管の役割
○馳澤盛一郎、野崎久義 (東大・院理・生物)
- 14:30-14:40 (休憩)
- 99 14:40-14:50 α B-クリスタリン発現制御細胞における微小管の安定性
○跡見順子、藤田義信、土路恭子、大戸恵理、田中幹人 (東大・院・生命環境)

- 100 14:50-15:00 ポリグルタミン酸化に伴うチュープリンのコンホメーション変化
○高木佐知子、松田昭範、新井孝夫（東京理科大・応用生物科学）
- 101 15:10-15:20 MTOG Gタンパク質（p51）分画、ラテックスビーズ、チュープリン二量体を用いた微小管形成能の解析
○中村晃子、中村梨紗子、酒井彦一（日本女子大・理）
- 102 15:20-15:30 MAP4のProline-richドメインの役割
○豊田一志、伊藤知彦、1久永真市、1飯田純子、宝谷絃一（名大・院・理、1都立大・院・理）
- 103 15:30-15:40 微小管重合調節因子 SCG10 の局在する膜画分の解析
○前川昌平、佐野繭子、鳴瀬善久¹、森望¹（京都工繊大・応用生物、¹国立長寿研セ・分子遺伝）
- 104 15:40-15:50 牛副腎皮質由来新規微小管結合タンパク質（250kD MAP）の性質
○香月美穂、徳楽清孝、中川裕之、小谷享（九州工大・情報工・生物化学）
- 105 15:50-16:00 cAMP依存性タンパク質リン酸化酵素阻害剤H-89によるMAP2リン酸化レベルの上昇
○神谷依里、伊藤知彦、1久永真市、宝谷絃一（名大・院・理、1都立大・院・理）

プログラムの追加がありますのでご注意ください。

6日

35.5 19:10-19:20 ATP付ビーズの動きから、ミオシンATP分解中の構造変化を追う
○町田昌樹、樋口秀男（東北大・工・金属）

8日

106 16:00-16:10 DNA上のスライディングによる新しい遺伝子発現調節機構とTrpR
○杵渕 隆、嶋本伸雄（国立遺伝学研究所）

2000年合同班会議 in 大阪（前田雄一郎氏）
1月6～8日（木金土）ライオンホール